

2015 **2.1**

市報

ひがしまつしま

復興への確かな歩み

特集 復興まちづくり計画・事業の進ちよく状況報告

復興交付金の交付概要と活用状況中間報告など



震災からの一日も早い復興を目指して、市内で様々なまちづくり事業が進められています。その財源となる復興交付金は、平成24年以降、これまで10回にわたり交付決定しており、合計約1106億7000万円が本市に配分されました。

内訳は、住宅再建に向けた防災集団移転促進事業や災害公営住宅整備事業、産業振興のための農地再生、漁業復興事業、子どもたちのよりよい教育環境づくりを推進する公立学校施設整備事業など多岐にわたります。これらを活用した事業が今後とも着々と進み、復興まちづくり計画が具現化していきます。

今号の特集では、これまで決定した復興交付金事業の概要や交付金を活用して取り組んでいる主な事業の現状などをお知らせするとともに、一般社団法人東松島みらいとし機構(愛称:HOPE)の平成26年度における活動・事業概要も紹介します。

写真…復興交付金を活用した防災集団移転事業が行われている野蒜北部丘陵団地中工区の様子(1月14日)

市報
ひがし
まつしま
No.164

- 特集 復興まちづくり計画・事業の進ちよく状況報告 ----- P2～P5
- まちの情報広場 --- P6～P8
- City View ----- P10～P11
- 知っ得情報 ---- P14～P17
- 戸籍のまど ほか ----- P19
- 市民協働のまちづくり ----- P9
- もっと知りたい!ひがしまつしま ---- P12～P13
- ヘルシーインフォメーション ---- P18
- 市民のカレンダー ----- P20



東松島市キャラクター イート&イ〜ナ (右) (左)

復興交付金 まちづくりの多分野で活用

①防災集団移転促進事業

災害に強く安心・安全に暮らせる地域に

震災に伴う防災集団移転事業で、市は復興交付金を活用して、平成29年までに7団地計717戸を整備します。26年6月には市内で初となる防災集団移転団地として矢本西・牛網・月浜・大浜・室浜の5団地計166戸の宅地を供給しました。



▲防災集団移転団地「大浜団地」

27年には、あおい(東矢本駅北)団地計273戸が順次引き渡される予定となっているほか、28年から29年にかけては、野蒜北部丘陵団地計278戸の整備が完成する見通しです。

防災集団移転団地の整備状況

団地名	整備戸数	宅地引き渡し予定時期など
矢本西団地	87戸	
牛網団地	45戸	
月浜団地	18戸	平成26年6月10日 宅地引渡完了
大浜団地	10戸	
室浜団地	6戸	
あおい(東矢本駅北)団地	計273戸	
第Ⅰ期	97	平成27年4月 宅地引渡予定
第Ⅱ期	87	平成27年7月 宅地引渡予定
第Ⅲ期	89	平成27年9月 宅地引渡予定
野蒜北部丘陵団地	計278戸	
第Ⅰ期	87	平成28年7月 宅地引渡予定
第Ⅱ期	99	平成28年10月 宅地引渡予定
第Ⅲ期	92	平成29年1月 宅地引渡予定

■防災集団移転団地の整備に関する問 復興都市計画課都市整備班 ☎内線1475

②災害公営住宅整備事業

市内16カ所で建設進む

震災で自宅を失った方々のため、市内16カ所で災害公営住宅を整備しています。平成26年4月には小松南(谷地)、小野中央(鳴瀬給食センター跡地)、小野駅前北、赤井川前二、赤井川前四番の5カ所で、11月にはあおい(東矢本駅北)地区の一部で順次入居を開始。今年1月には町浦(矢本東保育所移転跡地)(20戸)が完成し、1月19日(月)に鍵の引き渡しが行われました。また、今年の7月に矢本西、牛網、宮戸地区の室浜、大浜、月浜、8月に赤井柳の目北、11月にはあおい(東矢本駅北)の第Ⅱ期目が完成する予定です。



▲1月から入居開始した町浦(矢本東保育所移転跡地災害公営)住宅

災害公営住宅の状況

地区	整備戸数	入居開始予定時期など	
町浦(矢本東保育所移転跡地)	20	平成27年1月入居済	
あおい(東矢本駅北)	第Ⅰ期	平成26年11月入居済	
	第Ⅱ期	平成27年11月	
	第Ⅲ期	平成28年5月	
	第Ⅳ期	平成28年8月	
矢本西	40	平成27年7月	
小松南(小松谷地)	156		
小野中央(鳴瀬給食センター跡地)	21	平成26年4月入居済	
小野駅前北	23		
小野駅前南	37	平成28年1月	
野蒜北部丘陵	170	平成29年6月(西部)、平成29年11月(東部・中央)	
宮戸	室浜	15	
	大浜	5	平成27年7月
	月浜	4	
牛網	29	平成27年7月	
赤井	川前二(赤井川前二)	16	平成26年4月入居済
	川前四番(赤井川前四番)	38	
柳の目北		85	平成27年8月
		44	平成28年4月
矢本地区(小松沢田前)	44		
合計	1,010		

■問 建設課復興住宅班 ☎内線2224・2225

③公立学校施設整備事業

自然に恵まれた新校舎

みやのもり 宮野森小・鳴瀬未来中

鳴瀬地区では、野蒜小学校と宮戸小学校が平成28年4月に統合し、「宮野森小学校」として生まれ変わります。新校舎は28年12月に野蒜北部丘陵地区の集団移転地内に完成する予定で、現在用地造成と校舎等実施設計を行っています。



※校舎の色合いは校舎中のため、今後変更になる可能性があります。

宮野森小学校

※野蒜小・宮戸小の統合校。

■校舎新築計画の概要

- 構造 木造(一部2階建て)
- 規模 敷地面積 16,250㎡
(うち平場面積約13,900㎡)
校舎床面積 約2,954㎡
体育館床面積 約898㎡
プール・遊具一式

鳴瀬未来中学校の新校舎は、鳴瀬地区の中央となる中下地区内に建設される計画です。29年度内の供用開始を目指し、現在は用地造成設計などに取り組んでいます。

復興交付金は主に、校舎・体育館の建築などに充てられています。新校舎の建設計画においては2校とも豊かな自然を活用した「森の学校」をコンセプトに掲げており、心豊かな児童生徒を育てていきます。

■問 教育総務課復興調整班 ☎内線1255・1257

鳴瀬未来中学校



■校舎新築計画の概要

- 構造 鉄筋コンクリート造(3階建て)
- ※木造と変わらない外観・内装になるよう、木質化とする。
- 規模 敷地面積 約34,000㎡
(うち平場面積約31,000㎡)
校舎床面積 4,926㎡
体育館床面積 1,375㎡
武道館 516㎡
プール一式・テニスコート 2面

【事業スケジュール】

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
用地造成	用地造成			
建築工事	実施設計		平成28年12月完成予定	
		実施工事		供用開始

【事業スケジュール】

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
用地造成	造成設計等	造成工事		
建築工事	設計		建築工事	供用開始

これまで本市に配分された復興交付金の事業等概要を報告します

復興交付金とは

平成23年12月に成立した「東日本大震災復興特別区域法」により、著しい被害を受けた地域の復興地域づくりに必要となる事業を対象に、被災地方公共団体が自らの復興プランの下に進める地域づくりを支援し、復興を加速させる目的で交付されるものです。

これまでの配分と主な事業

申請回	事業費	配分額	配分を受けた主な事業
第1回	76.3億円	64.4億円	○防災集団移転促進事業 ○災害公営住宅整備事業(鳴瀬給食センター跡地、小野駅前土地区画整理地内) ○都市再生事業計画作成事業(野蒜北部丘陵地区、東矢本地区)
第2回	141.2億円	120.1億円	○災害公営住宅整備事業(矢本東保育所跡地、小野駅前土地区画整理地内) ○下水道事業(赤井・五味倉・大曲地区) ○防災行政無線施設整備事業
第3回	257.6億円	208.0億円	○被災市街地復興土地区画整理事業(野蒜北部丘陵地区、東矢本駅北地区) ○道路事業(東名・新東名線) ○災害公営住宅整備事業(小松谷地区、赤井地区)
第4回	332.8億円	261.4億円	○災害公営住宅整備事業(東矢本駅北地区、矢本西地区、宮戸地区 他) ○防災備蓄施設整備事業 ○下水道事業(野蒜北部丘陵地区、東矢本駅北地区、渋抜・野蒜地区 他)
第5回	16.6億円	12.6億円	○漁業集落防災機能強化事業(漁業集落宅地高上げ、生活基盤整備等) ○道路事業(小野・浜市線)
第6回	30.6億円	26.4億円	○災害公営住宅整備事業(赤井地区、矢本西地区、牛網地区) ○道路事業(大茂倉線整備事業) ○津波復興拠点整備事業(東矢本駅北地区)
第7回	234.7億円	195.7億円	○防災集団移転促進事業 ○道路事業(石巻工業港線、立沼・浜市線、小野・浜市線) ○防災盛土整備事業
第8回	10.9億円	8.7億円	○災害公営住宅家賃低廉化事業 ○公立学校施設整備事業(野蒜・宮戸統合小学校、鳴瀬未来中学校) ○都市再生事業計画作成事業(大曲浜地区)
第9回	6.0億円	4.8億円	○道路事業(石巻工業港線) ○震災遺構保存活用可能性調査事業
合計	1106.7億円	902.1億円	※事業費と配分額の差は、国からの特別交付税措置により充当されます。

このような事業に復興交付金を活用しています。

▶平成27年1月現在、市内95カ所に防災行政無線の屋外拡声子局が設置されています。長時間の停電時に備え、太陽電池パネルを設置しました(1月21日、東松島高校前)



◀大規模災害に備えて、市内各所に防災備蓄倉庫を整備しています(1月21日、矢本西小学校)



▲移転促進区域を復興まちづくりに活用していくための取り込み(写真は野蒜新町でのキャベツ栽培の様子)

東松島市東日本大震災復興交付金事業計画(第10回目交付分事業)を公表します



東日本大震災復興交付金事業として、2014年10月に復興庁に第10回復興交付金事業計画を提出しました。復興交付金事業計画を提出した事業は、東日本大震災特別区域法第78条第1項の規定に基づき可能額通知が示され、承認された事業について、東日本大震災復興交付金制度要綱第10の1に基づき公表します。また、事業の進捗状況についても、今後市報などでお知らせしていきます。

内容要旨

- 東松島市復興まちづくり計画における次の4つの基本方針の観点から、事業を精査しました。
- ① 防災・減災による災害に強いまちづくり・防災自立都市の形成
 - ② 支え合って安心して暮らせるまちづくり
 - ③ 生業の再生と多様な仕事を創るまちづくり

※これまでの交付決定事業の詳細内容は、今号の2~3ページのほか、下記のとおりお知らせしています。

第1回	交付決定事業:市報2012年6月1日号
第2回	交付決定事業:市報2012年7月1日号
第3回	交付決定事業:市報2012年10月1日号
第4回	交付決定事業:市報2013年2月1日号
第5回	交付決定事業:市報2013年4月1日号
第6回	交付決定事業:市報2013年8月1日号
第7回	交付決定事業:市報2014年1月1日号
第8回	交付決定事業:市報2014年5月1日号
第9回	交付決定事業:市報2014年9月1日号

これからの予定

本市の東日本大震災復興交付金事業では、計画の調整がついたものから順次、復興庁に計画申請を行い、交付決定を経て事業に着手します。

今後も、復興庁からの交付金事業の交付決定については、確定次第、市報や市ホームページなどで公表していきます。

■ 復興政策課復興政策班
☎ 内線1249

④ 持続可能な地域経済・社会を創るまちづくり
今回の事業計画では、災害公営住宅整備事業の推進を図るとともに、学校施設整備による教育環境の改善、農業の復興を見据えた各種事業を進めていくものです。

東松島市復興交付金事業計画第10回申請事業一覧 ※事業費(申請額)と国費の差は、国からの特別交付税措置により充当されます。

平成27年1月現在

事業番号	事業名	事業箇所 (地区名・施設名)	事業費 (申請額)	(単位:千円)		事業概要
				うち国費		
◆A-1-2-2 ◆A-1-3-2 ◆A-1-3-3	宮野森小・鴨瀬大来中学校 校舎等整備事業(用地取得・造成)	野蒜地区	315,765	252,610		宮野森小、鴨瀬大来中学校の移設新築を行うに際し、用地を取得・造成する。
C-4-4 C-4-5	宮戸・洲崎・東名地区 農業復興総合支援事業	宮戸・洲崎・東名地区	315,765	29,597		農業施設及び農業用機械等に関し、法人等に対し貸与を目的とし、集約再整備を行い農地復旧に合わせ早期の営農再開と被災農業者の再整備負担の軽減を図る。
C-7-1	水産業共同利用施設 復興整備事業(直接補助)	宮戸地区	13,284	9,963		第1種漁港において、集落移転等に伴う移転地の整備と併せて公衆トイレの整備を行い漁業者の就労環境の改善を行い、地域の漁業再生・復興の加速化を図る。
D-1-2 D-1-3 D-1-4	道路事業 立沼・浜市・ 東名・新東名・台前・ 竜岡線整備事業	矢本・浜市・東名・ 野蒜地区	3,473,800	2,779,040		矢本立沼地区と牛網・浜市地区の市街地間を結ぶ道路で、高盛大道路として整備を行うとともに、十分な幅員の確保や歩道の整備を行い、市街地の防災・減災に取り組み。緊急時の避難路として、東名漁港と新東名地区および野蒜北部丘陵地区間、野蒜海岸と野蒜北部丘陵地区間の接続道路を整備するもの。
D-2-1	道路事業 野蒜北部丘陵地区	野蒜北部丘陵地区	1,875,560	1,500,448		「野蒜地区」の市街地及び集落の集団移転先を土地区画整理事業及び被災市街地復興土地区画整理事業にて一体的に整備し、将来にわたって安全に住むことのできる住環境整備を図る。
◆D-4-8-1 ◆D-4-9-1 ◆D-4-10-1 ◆D-4-12-1	災害公営住宅駐車場 整備事業(矢本西、宮戸、小野 駅前南、牛網地区)	矢本西、宮戸、 小野駅前南、牛網地区	21,800	17,440		災害公営住宅(矢本西、宮戸、小野駅前南、牛網地区)の整備に関連して入居者が利用する駐車場を整備する。
D-4-10 D-4-12	災害公営住宅整備事業 (小野駅前南、牛網地区)	小野駅前南土地区画整理 地内、牛網地区	416,560	364,489		災害公営住宅を整備することにより、住宅の自力再建が困難な世帯等に対し、応急仮設住宅等からの早期の移転と安定した生活再建を支援する。
D-5-1	災害公営住宅家賃低廉化事業	東松島市	15,409	13,482		災害公営住宅入居者の居住の安定確保を図る目的から低廉な家賃を設定し家賃負担の軽減を行う。
D-6-1	東日本大震災特別家賃低廉化事業	東松島市	3,005	2,253		災害公営住宅に入居する低額所得者に対し速やかに生活再建ができるよう、一定期間、無理なく負担しうる水準まで家賃の減額を実施する。
D-15-1 D-15-2	東松島市津波復興拠点整備事業 (東矢本駅北・野蒜地区)	東矢本駅北、 野蒜地区	637,169	477,876		津波発生時の避難場所として駐車場を含めた津波防災拠点施設や津波復興拠点施設等の公共施設整備を整備する。
D-17-3 D-17-5 D-17-6	被災市街地復興土地区画整理 事業・計画作成事業(野蒜北部丘陵、 大曲浜地区)	野蒜北部丘陵、 大曲浜地区	2,864,040	2,148,030		野蒜地区の市街地及び集落の集団移転先を土地区画整理事業及び被災市街地復興土地区画整理事業にて一体的に整備し、将来にわたって安全に住むことのできる住環境整備を図る。 大曲地区の有効活用を進めるため、この区域を造成し、画地の再編を行うとともに、従前の住居系から産業系への土地利用の転換を図り、企業誘致を行う被災市街地復興土地区画整理事業を円滑に進めるため、被災市街地復興土地区画整理事業に係る事業計画の作成を行う。
D-21-3 D-21-4 D-21-7	下水道事業(雨水)	赤井・五味倉・大曲、 波抜、野蒜、下街道、 柳の目地区	5,507,141	4,130,355		ポンプ場、調整池、管渠等を整備し、赤井、五味倉、大曲、波抜、野蒜、下街道排水区内の雨水事業を行うもの。
D-21-8	下水道事業 (マンホール蓋上げ)	野蒜地区	167,280	125,460		主要地方道奥松島・松島公園線において、災害復旧工事に伴い道路蓋上げ工事が行われることから、占用物である下水道施設についてマンホールの高上げ等を行うもの。
D-23-2	東松島市防災集団移転 促進事業(事業費)	野蒜、大曲浜、浜須賀、 立沼、浜市、牛網、 宮戸地区	4,665,742	4,082,524		住民の居住に相当でないと思われる、区域内にある住居の集団的移転を促進する。 野蒜北部丘陵地区 ※移転地は復興土地区画整理事業で造成 東矢本地区 ※移転地は復興土地区画整理事業で造成 矢本西地区 牛網地区 宮戸地区
E-1-1	低炭素社会対応型 浄化槽集申事業	赤井、大曲、矢本、小松、 大盤、小野、牛網、浜市、 野蒜、東名、宮戸地区	9,940	7,455		津波による被災地域の個人が、自力で移転用地を確保し自宅を新築する場合、移転先が下水道整備区域外であった場合に合併浄化槽設置補助を行う。
D-1-1 D-1-2 D-1-3	道路事業 (市街地相互の接続道路) ※宮城県事業	(主)奥松島松島公園 線(洲崎、宮戸) (都)矢本流留線	6,810,000	5,277,750		松島-野蒜地区(防災集団移転)-宮戸地区(防災集団移転)を接続する道であり、野蒜地区などから宮戸へ唯一接続する道路を海岸の災害復旧と復興の公園計画などと整合を図り整備を行い、被災地間の交通円滑化を図る。 矢本市街地の西端から東西に走り、定川を横断し、石巻市の矢本流留線に接続する道路で移転元となる大曲・浜須賀地区や市街地各地区、また再建する大曲漁港と石巻市の水産加工団地等、関連する地区相互を接続する。また緊急時には大曲漁港に職を持つ人等に対する避難路としての役割も担う。
D-22-1	都市公園整備事業 (防災公園)矢本海浜緑地 ※宮城県事業	矢本海浜緑地地区	32,000	24,000		既設の矢本海浜緑地は、散策路を利用する来園者や公園管理者等があり、また大曲浜地区には多数の企業の従業員等がいることから、それらの津波発生時の緊急的な一時避難地として、遊楽園を含む防災公園の整備を行う。
◆D-22-1-2	広場整備事業 (矢本海浜緑地) ※宮城県事業	矢本海浜緑地地区	48,000	38,400		失われた矢本海浜緑地を従前規模で復旧し、地域住民のレクリエーション活動を被災前と同様に維持していくもの。
★F-2-1-1	市街地復興効果促進事業	東松島市	5,693,820	4,555,054		市街地整備の復興事業を円滑に効果的に進めるための促進事業。対象基幹事業(土地区画整理事業等)の事業費の20%を一括配分するもの。
決定額			32,609,778	25,836,226		

一般社団法人東松島みらいとし機構 (愛称:HOPE) 平成26年度における活動・事業を報告します

■設立: 2012年10月1日
 ■所在地: 東松島市矢本字上河戸36番地1(東松島市役所内)
 ■会員企業: 70社(※平成26年度現在)
 ■問 一般社団法人東松島みらいとし機構 ☎98-7311
 URL: <http://hm-hope.org/>



みんなの力で
よりよい東松島へ



東松島みらいとし機構は、東松島市の復興にとどまらない創造的な復興まちづくりと内閣府から選定を受けた「環境未来都市」構想の推進のために設立された一般社団法人です。市民、行政、地元企業、大学、NPO、民間企業を繋ぐ中間支援組織として、東松島市の震災復興に役に立ちたいと集まった70社の会員企業とともに、東松島市復興まちづくり計画にあるリーディングプロジェクトに基づく様々な復興まちづくり事業や地域貢献活動に取り組んでいます。

新しい地元産業の創出にも力を入れており、特に「東松島ステッチガールズ」は市内の主婦を中心とした、女性たちのための新しい産業の創出の取組みとして、各方面から注目を集めています。

～市民の皆さんとともに～ HOPEの地域貢献活動

市民の皆さんのニーズと、復興に役立ちたい会員企業や団体の知見、技術や資源を上手く結びつけることがHOPEの使命です。仮設住宅のサークル支援やパソコン教室の開催をはじめ、普段見ることのできない集団移転先の造成地の様子を空撮して公開したり、住宅自立再建のためのパンフレットを市工務店組合と共同で製作するなど、市民の皆さんと向き合い、役に立つ活動を徐々に広げています。

①市民の皆さん、市、HOPE会員企業など多くのステークホルダー(関係者)を集めて「ありたい未来の東松島」について対話を行いました。平成26年1月には市民向けフォーラムを開催しました。



③HOPE事務局メンバーが講師を務めるパソコン/タブレット教室を開催しました。受講者からはとても分かりやすいと好評です。また会員企業の自発的な活動による様々な子供向け体験教室も開催しました。



②仮設住宅の住民による高齢者支援サークルを毎月お手伝いしています。会員企業によるクラウドファンディング(インターネットを介した支援や提供)を実施して資金を募り、運営費と日帰り温泉・紅葉バスツアーをプレゼントしました。



④住宅自立再建の方に向けて住宅パンフレットを市工務店組合と共同で製作しました。④マルチコプター(ラジコン模型航空機)「DJIファントム」による防災集団移転先の空撮を開始し動画を公開しています。⑤会員企業から贈呈された足湯キャラバン。地域のイベントに活用されています。



～創造的復興に向けて～ HOPEおよび会員企業による事業活動

復興に取り組むとともに、今後日本全体が直面する少子高齢化や産業・雇用の創出といった社会課題に対して先進的に取り組む活動を行っています。業種の枠組みを超えて集まった70社の会員企業は、HOPE4部会16事業会をベースに多様に連携しながら事業検討を行っており、成果が出始めています。またHOPEでは、市内の主婦を中心とした女性たちのための新産業の創出として「東松島ステッチガールズ」を立ち上げ、平成26年度復興庁「新しい東北」先導モデル事業にも採択されました。今年度から新たに子どもたちの活力・笑顔を創る事業としてダンススクール「HUDDLE」を立ち上げて活動しています。

①HOPE会員企業は4部会(くらし/産業/コミュニティ・健康/エネルギー)・16事業会に分かれ様々な新しい事業検討を行っています。平成26年7月には市と「東松島市東京報告会」を共催し、約150名が参加しました。



③自然との共生も環境未来都市の大切なテーマです。野蒜復興の森一帯の整備に関して会員企業が連携し、馬とのふれあい体験や森林の散策の効果科学的に検証する実証実験などの活動を行っています。



②平成25年8月環境未来都市の先導事業として奥松島「絆」ソーラーパークが会員企業の事業として設立されました。③の写真2枚 宮城県産スギ材による太陽光パネル架台設置の実証事業を行いました。



④HOPE事業「東松島ステッチガールズ」作品(左の写真)/ダンススクール「HUDDLE」風景(左から2枚目の写真)/2004年スマトラ大地震で被災し復興を経験したインドネシア共和国バンダ・アチエ市から研修生を継続して受入れています(右2枚の写真)。



まちの情報広場

問い合わせ 東松島市役所 ☎82-1111
代表FAX 0225-82-8143
(東松島市内での固定電話の市外局番 0225)

後ろは振り返らず前進

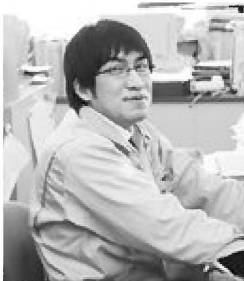


愛知県北名古屋市から派遣
復興都市計画課
村井 基浩さん 43歳

昨年4月に着任し、今年3月までの1年間、移転元地の区画整理事業に携わっています。復興の加速化と市民の皆さんの安心・安全を念頭に、業務にあたっています。

好きなスポーツはラグビーです。ゴールを目指してチーム一丸で前進するラグビーのように、仕事でも後ろは振り返らず、前向きに走り続けてきました。私が区画整理に携わった地域は、主に工業地として生まれ変わる予定です。地元企業が活発化し、まちに多くの雇用が生み出されれば、うれしいです。

復興の加速化につなげたい



宮城県から派遣
建設課
河内幸太郎さん 33歳

震災直後、亘理町と山元町で各1週間ほど支援業務に携わり、被害を受けた地域の力になりたいという思いを強くしたことが長期派遣のきっかけです。高校時代は海水浴で野蒜海岸を訪れたり、宮戸地区の民宿に泊まったりしたことがあるため、東松島市には非常に親しみを感じています。

昨年4月から主に災害公営住宅に関する業務に携わっています。今年3月までの1年間という短い期間でしたが、ここで培ったことを県政でも活かし、復興のさらなる加速化につなげていきたいと思っています。

地域の自立を手助け



KDDI株式会社から復興
庁宮城復興局を経て派遣
東松島みらいとし機構(HOPE)
福嶋 正義さん 37歳

出身は青森県八戸市で、実家は漁業を営んでいます。津波により漁具を失い、変わり果てた海を見つめる父の姿を見て、何かできることはないかと考えていたときに、会社内で復興支援室への公募があり、すぐに手を挙げました。

環境未来都市構想の推進などに携わっています。外部機関として、市民や職員の方々に気づきのきっかけを導き、自立の手助けをすることが職務だと考えています。東松島市が「地方創生のトップランナー」と言われるように尽力していきます。

東松島の復興を応援します

長期派遣職員の紹介

●長期派遣職員の皆さんは、「桜色」のリード(ひも)がついた名札を着用しています。

健康を支え魅力発信

東京で看護師として働いていました。ボランティアで被災地を訪れ、医療を受けられない人の健康診断を行う中で、健康格差は是正の必要性を感じました。そのためオーストラリアに留学し、大学院で多業種の連携による包括的な災害時の健康対策を学びました。帰国後、復興支援員となり、昨年からは保健師として勤務しています。

健康に関する制度など整備すべき点があると実感しました。市民の方々の健康の底上げをお手伝いしながら、皆さんの優しさや強さを発信していきたいです。



復興庁宮城復興局から派遣
健康推進課
往田香織里さん 38歳

「近くて遠いまち」がふるさとに

建設コンサルタントとして地域開発に携わり、平成23年から地元の塩釜市役所に勤めました。2年間の契約終了後、ふるさとの宮城のために復興庁に再就職し、東松島市に派遣となりました。

東松島市は「近くて遠いまち」という印象でしたが、浜など多くの魅力に触れ、今では第2のふるさとを感じています。今年は仙石線が全線開通し発展が望めますが、反面、人が流出しないよう考えなくてはなりません。3月までの派遣期間を延長し、自らの経験を役立て、市に貢献していきたいです。



復興庁宮城復興局から派遣
用地対策課
阿部 俊一さん 62歳

東北人の忍耐強さを感じる

昨年4月から今年3月まで1年間の任期で、主に道路用地の買収業務に携わっています。震災当時、被災地をテレビで見守ることしかできず、何かできることはないかと考えたのが派遣を希望した動機です。

市民の皆さんと直接お話をする機会も多く、皆さんが様々な苦勞を乗り越えながら一体となって前に進む姿に東北人の忍耐強さを感じています。

残りわずかの任期ですが、皆さんが安心した生活を取り戻せるように、精いっぱい仕事をしていきたいです。



北海道北見市から派遣
建設課
近藤 絢一さん 30歳

～復興への原動力、全国の皆さんに感謝～

■派遣元自治体(宮城県外分)

※宮城県外の自治体から派遣のあった都道府県の名称のみで、北から南の順で表記します。
北海道、青森県、山形県、栃木県、埼玉県、東京都、神奈川県、岐阜県、静岡県、愛知県、京都府、兵庫県、岡山県、広島県、山口県、香川県、愛媛県、福岡県、熊本県

■派遣元自治体(宮城県内分) 大崎市、美里町、宮城県

●平成25年度から派遣職員の皆さんは、「桜色」のリード(ひも)がついたネーム(名札)を着用しています。

■問 総務課人事班 ☎内線1218

■平成26年度分派遣職員内訳

※人数は、派遣期間の長短を問わず集計しています。

配属先内訳	人数	配属先内訳	人数
建設課	16人	用地対策課	3人
復興都市計画課	9人	環境課	3人
税務課	8人	商工観光課	3人
市民協働課	8人	市民課	2人
農林水産課	8人	教育総務課	2人
復興政策課	4人	健康推進課	1人
福祉課	4人	学校教育課	1人
下水道課	4人	生涯学習課	1人
行政経営課	3人	総計	83人
防災課	3人		

まちの情報広場

問い合わせ 東松島市役所 ☎82-1111
代表FAX 0225-82-8143
(東松島市内での固定電話の市外局番 0225)

平成28年4月開校「宮戸小・野蒜小 統合校の名称」が決定しました

平成28年4月に開校する宮戸小・野蒜小 統合校の名称が、
「東松島市立宮野森小学校」に決定しました。

校名については、12月1日(月)から12月19日(金)にかけて、両小学校区内に居住する住民等による投票を行い、投票結果を基に1月15日(木)開催の「第6回宮戸小学校・野蒜小学校統合準備委員会」において最終選考を実施。その結果を基に教育委員会にて校名を「宮野森小学校」に決定しました。今後、「東松島市立学校の設置に関する条例」の改正を経て、正式決定されます。

なお、統合校の概要、住民等による投票の結果は右記のとおりです。

平成28年4月開校「東松島市立宮野森小学校の校章デザイン」を募集します

東松島市では、平成28年4月に宮戸小・野蒜小が統合し、開校する「東松島市立宮野森小学校」の校章について、新しい学校のシンボルにふさわしい校章となるよう、多くのご提案の中から決定するため、広く市民皆さんからデザインを募集します。

■統合校の概要

東松島市立宮野森小学校	
統合対象校	宮戸小学校・野蒜小学校
将来像	<ul style="list-style-type: none"> ・自然と共生し、心豊かな子どもたちを育てる森の学校を目指します。 ・子どもたちの可能性を伸ばす体験の機会が豊富な学校を目指します。 ・東松島市の将来を担う郷土愛溢れる子どもたちを育てます。

■募集期間 2月2日(月)～4月10日(金)

※郵送の場合は、締切日必着。なお、応募にかかる費用(郵送料など)は、応募者負担。

■応募資格・条件 東松島市内に居住・通勤・通学または以前(合併前を含む)居住・通勤・通学されていた方 ※児童・生徒も応募できます。

- ①未発表のオリジナル作品に限ります。 ②応募は1人につき1点までとします。
- ③応募された校章デザインは返却しません。
- ④採用された校章デザインは、一部補作・修正を行う場合があります。
- ⑤採用された校章デザインに関する一切の権利は、市教育委員会および宮野森小学校に帰属します。

■応募方法 応募用紙または、日本工業規格A4判用紙に図案および必要事項を記入し、市役所(本庁舎・鳴瀬総合支所)、または各市民センターに設置されている受付ボックスへ投函いただくか、郵送、Eメールにて応募してください(鳴瀬地区小学校・中学校の児童・生徒・PTAの場合は、学校への提出も可能です)。

1.統合校の概要

東松島市立宮野森小学校	
統合対象校	宮戸小学校・野蒜小学校
将来像	<ul style="list-style-type: none"> ・自然と共生し、心豊かな子どもたちを育てる森の学校を目指します。 ・子どもたちの可能性を伸ばす体験の機会が豊富な学校を目指します。 ・東松島市の将来を担う、郷土愛溢れる子どもたちを育てます。
校名の説明	宮戸と野蒜の歴史と伝統を受け継ぎ、未来へ継承するとともに、地域と学校が一体となり、郷土愛溢れる子ども達を育てる新しい学校の姿の象徴を「森の学校」として表し、地域(住民)の思いが一つになる願いを込めて、それぞれを表す漢字を一つに組み合わせることで表現したものを。

2.住民等による投票結果(上位3点)

順位	小学校名称(ふりがな)	得票数
1	宮野森 みやのもり	35
2	鳴瀬奥松島 なるせおくまつしま	33
3	鳴瀬みやの森 なるせみやのもり	32

応募用紙は、市役所(本庁舎・鳴瀬総合支所)、各市民センターにて配布しています。なお、Eメールによる応募の場合は、必要事項をメール本文に記載し、デザインはファイル添付としてください

参考 / 現在の校章デザイン
宮戸小学校 野蒜小学校



■作成要領

- ①新しい小学校を象徴・イメージできるデザインとしてください。
- ②デザインは単色またはカラーのどちらでも結構です。ただし、カラーは3色以内とします(白・黒含まず)。
- ③単色で表現してもイメージが損なわれないものとしてください。
- ④グラデーション(ぼかし)は使用しないでください。
- ⑤コンピュータソフトによる作成も可能ですが、Eメールに添付して応募する場合は、ファイル形式をJPEG、BMPなどの汎用的な画像データ形式とし、ファイル容量を3MB以内としてください。

※応募者の氏名、現住所、年齢、電話番号、およびデザインの説明を必ず記載ください。記載が無い場合は無効とします。

■決定方法 統合準備委員会での選考後、市および教育委員会が決定します。結果は決定後、採用デザイン応募者のみの連絡とし、他の応募者は市報および市ホームページなどへの記事掲載をもって結果発表に代えます。

■応募にかかる間・提出 教育総務課復興調整班 ☎内線1255・1257
住所:〒981-0503 東松島市矢本字上河戸36-1
Eメール: kyoikufukko @ city.higashimatsushima.miyagi.jp

毎月11日は「市民防災の日(市民防災デー)」です

～宮城県北部連続地震から12年、東日本大震災から3年11カ月～

2月のテーマは、「避難所・避難場所の確認」です。

避難所には地区センターなどの身近な集会施設や公共施設で、災害発生時に自主防災組織が基本的に運営する地区避難所、大規模な避難収容施設で非常用食料などが配備されている小中学校、高校、市民センターなどの地域避難所があります。また、安全な状況が確認できるまで一時的に避難する施設である避難場所があります。災害時に避難が必要になった際のことを考え、地域や家族でもう一度避難場所を確認し、話し合みましょう。また、避難経路についても、扉隙や狭い路地は避け、広く安全な経路を実際に歩いて確認し、地域全体で防災意識を高めましょう。

■避難所・避難場所の確認チェックリスト

避難所・避難場所の確認	自宅最寄りの地区避難所や地域避難所に加え、職場など生活圏の避難所も確認しましょう。また、遠方に出かけた際も避難場所を確認しましょう。
避難経路の確認	災害が発生した際、迅速な避難をするため、避難経路の確認が大切です。また、災害が発生した際、想定していた避難経路が使用できない場合もあります。複数の避難経路を確認し、その際にブロック塀などの危険物に注意し、周囲に目を配り、行動しましょう。

■問 東松島市自主防災組織連絡協議会(事務局:防災課危機対策班)
☎内線1165

東松島市内の放射線測定

市では現在、市役所本庁舎西側通用口付近に、国の放射線測定可搬式モニタリングポストを設置していることから、この測定結果を掲載します。

空間放射線線量率調査結果(市役所西側通用口付近 地上1m:午前8時現在)						
測定月日	1月17日	1月18日	1月19日	1月20日	1月21日	1月22日
測定値(単位:μSv/h)	0.033	0.034	0.031	0.032	0.031	0.032

※原子力規制委員会のホームページでリアルタイムの測定結果を公表しています。

URL: <http://radioactivity.nsr.go.jp/map/ja/>

■問 環境課廃棄物対策班 ☎内線1155

平成27年度東日本大震災東松島市慰霊祭

2011年(平成23年)3月11日に発生した東日本大震災により、多くの市民が犠牲になりました。市では、震災発生から4年となる日に、震災によりお亡くなりになられた方々の霊を慰めるため、次のとおり慰霊祭(無宗教、献花方式)を執り行います。

■日時 3月11日(水) 14時30分～16時30分

■場所 東松島市民体育館

(住所:東松島市小松字上浮足164、矢本第一中学校北隣)

■問 総務課秘書広報班 ☎内線1212

平成27年度 市・県民税申告のお知らせ

2月3日(火)から3月16日(月)まで市内各所において平成27年度市・県民税申告の受付を行います。

申告受付(日程・場所など)に関する詳しい内容は、市報1月1日号でお知らせしていますので、こちらをご覧ください。

※20ページ「市民カレンダー」に申告日程・会場などをお知らせしています。

■問 税務課住民税班 ☎内線1138・1139

地域の木材利用に関するアンケートへの協力をお願い ～地元の宝 みんなで使おう東松島の木～

市では、地域の木材利用に関するアンケートに答えていただいた方へ木材を提供しています。木材は市内で倒木したナラの木を玉切りにしたものを用意していますので、ぜひ地域の皆さんで活用ください。

■場所 東松島市役所鳴瀬庁舎1階 農林水産課

■対象 木材利用に関するアンケートに答えていただける方

■提供木材 ナラの木(50cm程度の玉切り済)を20kg程度

※数量に限りがあるので無くなり次第、終了します。

■問 農林水産課農林水産振興班 ☎内線2137・2139

ともに復興へ

■問 市民協働課協働推進班 ☎内線1281

みんなが主役の

市民協働のまちづくり 20

第8回 各地域自治協議会・市民センターから「こんにちは」 宮戸コミュニティ推進協議会・宮戸市民センター

宮戸地区の自治会制度の取り組み

宮戸市民センターのエリアには、5行政区があります。平成29年4月から始まる新しい自治会制度への準備期間として、現在は役員会や区長会議などを随時実施しています。

宮戸地区は震災で大きな被害を受けました。他地域への移住を余儀なくされた住民も多く、特に若い世代の流出については歯止めがかからないのが現状です。小学生も今は23人しかおらず、宮戸小学校も28年度には野蒜小学校と統合することが決まりました。

活気ある地域づくりには、若い世代の力が必要不可欠です。子どもたちが「宮戸に残り、地域のために働きたい」と思えるような魅力ある地域づくりをしていくことが求められます。そのためにはまず、復興のさらなる加速化と人々の生活再建という大きな課題を解決し、住民が足並みをそろえていく必要があります。よりよい地域づくりには、地域住民一人ひとりの意識と連携が何よりも大切です。

自然が豊かな宮戸島は、他地域にはない観光資源や産品が多様な「宝の島」です。5年先、10年先の未来を見据えながら、かつてのにぎわいを取り戻せるよう、市民協働のまちづくりに励んでいきます。



▶平成26年10月30日に行われた第4回宮戸コミュニティ推進協議会役員会の様子

宮戸のちっちゃなかきまつり

平成26年12月6日(土)に、宮戸コミュニティ推進協議会が主催する「宮戸のちっちゃなかきまつり」が奥松島縄文村歴史資料館前で開かれました。県漁協宮戸支所の協力を得て平成24年から行われているイベントです。会場ではカキ汁や焼きガキが振る舞われ、長蛇の列ができる人気ぶりでした。

今シーズンのカキは身も大きく、甘くプリプリしているのが特徴です。販売用の生ガキ、殻つきカキ、カキご飯もすべて完売するなど好評を博しました。親子連れも多く訪れ、にぎわいを見せていました。



▲カキ汁を味わう参加者たち(2014年12月6日)



■問 宮戸市民センター ☎86-2177

第6回東松島なべ鍋まつり開催のお知らせ

あったかいホールに、市内各店舗自慢の鍋が outlets します。当日は、以下の6店舗の鍋が食べられます。

- ちゃんこ 萩乃井・・・元力士が作る本物の鶏肉「ちゃんこ鍋」
- 旨い食処あごら・・・「えごま豚」が入った鍋
- 料理 菅原・・・辛さがやみつきになる「チゲ鍋」
- 食事処こぼると・・・やわらかい豚肉たっぷりの「味噌肉鍋」
- ファミリー割烹なかみちや・・・合がも肉が入ったさきりたんぽ風
醤油味の「かも鍋」

レストランばらだいす・・・コンソメ仕立てポトフベースの「洋風鍋」

※なべ鍋まつりで鍋を食べるには、事前にチケットの購入が必要です。前売りチケットは、あったかいホールにて、1枚6店舗分セット、1200円(先着100枚)で販売します。当日券は1500円(先着10枚)で販売します。

- 日時 2月28日(土)18時～20時 ※ラストオーダー:19時30分。
- 場所 あったかいホール
- 主催 東松島元気なまちづくり委員会
- 後援 東松島市食堂組合 ■協力 東松島市
- ※駐車場はありませんのでご注意ください。
- 問 あったかいホール ☎98-6061(平日9時～17時)



▲昨年開催の様子(3月15日、あったかいホール)

「金子耕式」文化講演会の開催

TBC東北放送ラジオ番組のパーソナリティを迎えて、世代を超えての子育て、家族・家庭に必要なことと、より良い環境での子育て・健全育成が図れる豊かな社会を創るお話をいただきます。多くの皆さんの来場をお待ちしています。

- 日時 2月15日(日)14時 ※開場13時30分。
- 場所 市コミュニティセンター ※入場無料。整理券が必要。
- 内容 家族に贈るとおきの話し(子育て、家族・家庭に必要なこと)
- 講師 金子耕式
- 整理券配布先 市コミュニティセンター、蔵しっくパーク、各市民センター
- ※無くなり次第配布終了。
- 問 市コミュニティセンター ☎82-6969(受付時間9時～17時)

あったかいホールからのお知らせ

チャレンジショップ(あったかいホール1階)では、地元の旬の野菜・海苔や手作り小物を販売しています。ぜひお越しください。

手作りチャレンジクラブ ※申し込みは電話受付。

- ★布草履教室
 - 日時 2月14日(土)・26日(木) 13時～16時
 - 材料費 500円
- ★楽しい手作り～手織り(裂き織りテーブルセンター)～
 - 日時 2月24日(火)13時～16時 ■材料費 500円
- ★健康麻雀教室
 - 日時 2月13日(金)・20日(金)・25日(水)13時～16時
 - 受講料 500円

「あったかいホール」開館時間のお知らせ

- チャレンジショップ(1階) 10時～16時、日曜休館
- ※あったかいホールは、祝日もお休みとなりました。
- 問・申し込み ☎98-6061 FAX:98-6062

CityView!



[CityView!]では、市のイベントや地域の話題を、皆さんにお届けします。
 <掲載した写真は、データで提供します。希望の方は問い合わせください。>

平成27年 成人式



未来へ突き進む決意を胸に



平成27年東松島市の成人式が1月11日(日)、市コミュニティセンターで行われました。今年のテーマの「躍進~Let It Go~」には、「未来-未知という名の船に乗れ! (平成25年)、「飛躍~心をひとつに」(26年)を受けて、さらに未来に向かって突き進むという思いを込めました。対象者455人のうち370人が出席し、振り袖や袴、スーツに身を包んだ若者たちは大人の自覚と決意を胸に、新たな一歩を踏み出しました。



成人式実行委員会委員長 高橋智幸さん (行政区等境沼二) (矢本第二中学校出身)
 成人式実行委員会委員 小林咲衣さん (行政区等南新二) (鳴瀬第一中学校出身)
 成人式実行委員会副委員長 菅原龍輔さん (行政区等中) (矢本第一中学校出身)

新成人としての思いを込めたひとこと

式では阿部市長が「震災を乗り越えて培った絆を強くし、感謝の気持ちを持って前途洋々の道を行ってほしい」とエールを送りました。新成人代表の二十歳の決意で、成人式実行委員長の高橋智幸さんと、鈴木亜紀さんが「ふるさとの東松島で培ってきた『東松魂』で困難を乗り越え、まちの力になりたい。これからも見守っていただき」と力強く語りました。

式典後のアトラクションでは、新成人たちによる実行委員会が製作した恩師からのビデオレターが上映されたほか、元ZOOのボーカリストで東松島ふるさと復興大使も務めるSATSUMIさんがゲストで登場し、歌とダンスでヒット曲の「Choo Choo Train」などを披露したほか、熱いメッセージを語り、若者たちの門出に花を添えました。

復興への願い込めた東松島産のり

県内で生産された、のりの中から特に品質の良いものを選ぶ第67回奉献乾海苔品評会が、1月11日(日)に塩釜市の志波彦神社・塩竈神社で開催されました。今回は県内から118点が出品され、いずれも見事な出来栄の中、香等賞に本市の門馬猛さん(県漁協宮戸支所所属)と三浦一郎さん(同矢本支所所属)、三浦正洋さん(同)が選ばれました。

残念ながら今年は皇室御献上を逃しましたが、このほか式等賞や技術賞などでも本市から多くの出品者が入賞を果たし、震災を乗り越えて高い品質を誇る「東松島のり」を広く示しました。



第67回奉献乾海苔品評会入賞者

(東松島関係者分の県漁協所属支所と氏名を掲載。敬称略)

賞	協賛賞	入賞者名	県漁協支所名
最等賞	仙台市長賞	門馬 猛	宮戸支所
	松島町長賞	三浦 一郎	矢本支所
	日理町長賞	三浦 正洋	矢本支所
式等賞	全国漁業協同組合連合会賞	阿部 信弘	宮戸支所
	全国海苔貝類漁業協同組合連合会賞	栗石 博幸	宮戸支所
	宮城県漁業協同組合経営管理委員会長賞	鹿野 拓洋	鳴瀬支所
技術賞	東北地区海苔入札問屋組合理事長賞	尾形 文秀	宮戸西部支所
	宮城県漁船保険組合理事長賞	相澤 太	矢本支所
	カメイ純漬	小野 誠	宮戸西部支所
参等賞	日本トールカンパケージ機賞	阿部 雄美	矢本支所
	王子コンテナ機賞	津田 正次	矢本支所
	株式会社コーポレーション賞	津田 大	矢本支所
四等賞	日東製鋼賞	相澤 武一	矢本支所
	株式会社工賞	三浦 義孝	矢本支所
	御今野商店賞	門馬 幹彦	宮戸支所
	株式会社海苔店賞	千葉 政敏	宮戸支所
	株式会社井商店賞	小野 真義	宮戸西部支所

夢を語って 明るい地域

大塩地区新春夢語り

大塩コミュニティ協議会

大塩地区新春夢語りが開かれました。今年で13回目となる新年の恒例行事には、主催する大塩自治協議会(木村政敏会長)のメンバーや来賓など約60人が出席し、それぞれの夢や新年の抱負を発表しました(1月10日、大塩市民センター)

大きな声で初笑い

新春 お楽しみ演芸会

初笑いを届ける新春 お楽しみ演芸会では、東松島ふるさと復興大使も務める小野出身の漫才コンビ「ニードル」が出演しました。ニードルは地元出身ならではの話題や、方言を使ったネタを披露し、笑助さんは古典落語をイキイキと演じました。満場の客席は終始笑いの連続でした(1月17日、蔵しっくパーク)